

研修会報告

平成 29 年 10 月 13 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「ライブレクチャーと症例で学ぶ呼吸機能診療」～手技と最新治療～

開催日時平成 29 年 10 月 7 日（土）13：00～17：10

仙台厚生病院 管理棟 1 階 熊谷・海老名ホール

司会： 東北大学病院生理検査センター 三木 俊

・「呼吸機能装置の精度管理」

チェスト株式会社 小山 義人

・「呼吸機能検査のコツ」～標準的手技およびデータの見方・考え方～

滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 藤澤 義久

座長 仙台市立病院 佐藤 貴光

・症例検討「この症例をどう読む？」

仙台医療センター 菅原 亜紀子

仙台厚生病院 山岡 弘和

東北大学病院 情野 千文

座長 仙台赤十字病院 西尾 太一 東北大学病院 青木 桜子

・「呼吸器系診療の話題」～呼吸器疾患と検査～

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野／呼吸器内科 小川浩正

座長 東北大学病院 工藤 由美子

生涯教育点数 専門 20 点、会員参加者 82 名

内容

今回の呼吸機能研修会は「ライブレクチャーと症例で学ぶ呼吸機能診療」をテーマに、精度管理や検査手技のライブレクチャーをはじめ、各施設からの症例検討や最新の呼吸器診療についての内容であった。はじめに「呼吸機能装置の精度管理」としてチェスト株式会社より精度管理の要点と手技について説明を頂いた。続いて「呼吸機能検査のコツ」と題し、滋賀医科大の藤澤先生より VC・FVC を中心としたライブレクチャーを頂いた。ライブでは不適切な検査手技を含めながら、標準的測定法やデータの妥当性について詳しく解説して頂いた。症例検討では、臨床で遭遇し判断に迷った症例を各施設から提示して頂きディスカッションを行った。コメンテーターの先生からデータの採択や再検時のポイント、病態と検査の関連について分かり易く的確なアドバイスを頂いた。特別講演では「呼吸器系診療の話題」として東北大学の小川先生より CPFE と ACOS の病態、一酸化窒素を指標とした最新の肺拡散能測定について講演して頂いた。今回の研修会ではデータや病態の解釈に加え、精度管理から呼吸機能検査の基礎的手技を実際にみて学ぶことができた。多くの参加者にとっても有意義な内容であったと思う。今後も宮城県臨床検査技師会員が積極的に参加し、楽しく学べる生理検査研修会を多く開催していきたい。